

2022年度 日本工学院専門学校											
情報ビジネス科											
サービス介助											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	講義	時間数	15	単位	1
担当教員	山下 恵子			実務経験	有	職種	救命救急士				
担当教員紹介											
高度かつ専門的な資格所持のもと医療機関にて実務経験を積む。ホスピタリティ精神をもって実践的な授業を展開する。											
授業概要											
突然の事故や病気など救急車を呼ぶような現場に遭遇したとき、救急隊員や医療従事者車での間、応急手当を行う必要がある。様々な事象の応急方法を理解することで対応できるようにする。また、サービス介助の高齢の人や障がいがある人を手伝うときの「おもてなしの心」と「介助技術」を学び、相手に安心してもらう方法を学ぶ。											
到達目標											
サービス介助として、高齢、聴覚障がい者、車いす利用者、視覚障がい者への対応方法を理解する。											
授業方法											
サービス介助として高齢者、障がい者への対応方法を説明する。											
成績評価方法											
試験・課題 平常点	50% 50%	試験と課題を総合的に評価する 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により、内容が前後する場合がある。											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス 応急処でのポイントについて理解できる										
第2回	高齢者への理解（1） 高齢者への対応方法について理解できる										
第3回	高齢者への理解（2） 認知症について理解できる										
第4回	高齢者への理解（3） 疑似体験を通じて白内障について理解できる										
第5回	車いす利用者への理解（1） 車いす利用者への対応方法が理解できる										

2022年度 日本工学院専門学校	
情報ビジネス科	
サービス介助	
第6回	車いす利用者への理解（2） 疑似体験を通じて車いす利用について理解できる
第7回	車いす利用者への理解（3） 疑似体験を通じて車いす利用について相互理解できる
第8回	まとめ